

学報



2019 年 12 月 Vol. 748

2019 年度第 8 回学長記者会見を実施

ノーザンケンタッキー大学（アメリカ合衆国）の Ashish Vaidya 学長らが本学を訪問・・・	01
第 54 回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催・・・	02
2019 年度第 8 回学長記者会見を実施・・・	03
岐阜大学男子ハンドボール部が全日本インカレに出場・・・	04
「ISO14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を実施・・・	05
海外留学フェア 2019 秋を開催・・・	06
Public Lecture 2019 in Universitas Muhammadiyah Yogyakarta が開催・・・	07
岐阜大学が「eco 検定アワード 2019」エコユニット部門“優秀賞”を受賞・・・	08
第 18 回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会を開催・・・	09
コンポジットハイウェイコンベンション 2019 を開催・・・	10
ベトナム フエ省・フエ大学の観光学校長らが森脇学長を表敬訪問・・・	11
「地元企業との交流会」を開催・・・	12
岐阜大学生チームが、2019 郡上素材！新商品開発コンペで入賞・・・	13
学位授与・・・	14
叙位・叙勲・・・	15
表彰受賞者・・・	16
産官学連携の実施状況・・・	17
メディア掲載一覧・・・	18
諸会議・・・	21
主要日誌・・・	22
人事異動（学内限定）・・・	23
令和元年度永年勤続者表彰（学内限定）・・・	24

ノーザンケンタッキー大学（アメリカ合衆国）の Ashish Vaidya 学長らが本学を訪問

11月1日(水), ノーザンケンタッキー大学から Ashish Vaidya 学長と François Le Roy 理事が来学し, 森脇学長を表敬訪問した。Vaidya 学長は, 2018 年 7 月に学長に就任され, 今回本学へ初めて訪問された。

学長表敬訪問には, 鈴木理事(国際・広報担当), 嶋留学推進部門長, 異教育学部教授, 神谷地域科学部准教授, 野々村グローバル推進機構国際企画調整役が同席した。

本学とノーザンケンタッキー大学は, 学生交流が非常に活発で, 毎年交換留学の往来があり, また, 教育学部の学生らが, 夏期に短期留学をしている。

表敬訪問の場では, 現在の両大学の状況や今後の相互の交流について活発な意見交換がされた。

森脇学長は, Vaidya 学長へ積極的な交流に謝意を示すとともに, 今後もより活発な学生交流および研究者交流が行われることを期待すると述べ, 更なる交流の推進を確認した。



森脇学長(左)と Vaidya 学長との記念品交換。



上段左から異教授, 神谷准教授, 野々村国際企画調整役。下段左から鈴木理事(国際・広報担当), 森脇学長, Vaidya 学長, LeRoy 理事, 嶋留学推進部門長。

第54回岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催

本学は、11月6日（水）に、第54回 岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を開催した。この行事は、本学が「環境ユニバーシティ宣言」した11月を岐阜大学環境月間と定め、関連行事として毎年開催しているもので、学内外から252名（内訳：教職員59名、学生178名、一般15名）の参加があった。

フォーラムでは、東京理科大学 栄誉教授、光触媒国際研究センター長の藤嶋昭氏を講師に迎え、「科学を楽しく・光触媒を中心に・」と題し講演していただいた。光触媒の実用例を紹介され、光触媒が農業や医療の現場など、私たちの身近な場面で使われていることを説明いただいた。また、光触媒の発見から現在に至る経緯についても触れ、研究の楽しさや難しさについて語られた。現在は、世界遺産を常にきれいに保存するため大理石などを光触媒でコーティングすることについて研究されている。また、広い視野を持つことの大切さや、あきらめないこと、日常生活の中で好奇心の目を持ち、疑問をそのままにせず自分で考えることが大切であると語られた。

参加者からは「光触媒の用途の幅広さに大変おどろいた」「これから研究が進むと、医療面や日常の様々な場面で光触媒が応用されて、便利な社会になるのではないかと期待が高まった」「常に周りにアンテナを張り巡らせてこれから研究を進めたいと思う」などの感想が寄せられた。

本学は、今後も環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開していく。



講演される藤嶋先生



会場の様子

2019年度第8回学長記者会見を実施

本学は、11月7日（木）に2019年度第8回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「地方創生エネルギーシステム研究センター」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで板谷研究推進・社会連携機構地方創生エネルギーシステム研究センター長から地方創生エネルギーシステム研究センターの研究内容や設備整備状況を説明した。

地方創生エネルギーシステム研究センターは2018年度に設置され、太陽電池や風力発電などの再生可能エネルギーを「つくる」「ためる」「はこぶ」「つかう」というそれぞれの革新的な技術を基に、再生可能エネルギーの地産地消による地域のエネルギー自立を目指し、地域特性に合わせた効率良いエネルギー利用を行うためのエネルギーシステムの構築を進めている。

また、11月12日（火）には再生可能エネルギーマネジメントシステムオープン式典が行われ、この度地方創生エネルギーシステム研究センターに整備された、学内試験設備が披露された。式典では国内国立大学では唯一の設備を活用した本センターの研究内容が紹介され、参加者はセンターの研究の進展に期待を寄せた。

今後、本センターはエネルギーシステムの構築に向け、学内試験の後、社会実装試験を目指す。



将来ビジョンを用いて説明する
森脇学長



説明する板谷研究推進・社会連携機構地方創生エネルギーシステム研究センター長



式典の様子



試験設備披露の様子

岐阜大学男子ハンドボール部が全日本インカレに出場

11月8日（金）～12日（火）に宮城県仙台市で高松宮記念杯男子62回全日本学生選手権（以下、全日本インカレという）が開催され、本学男子ハンドボール部が出場した。

本学男子ハンドボール部は8月に愛知県で開催された男子58回西日本学生ハンドボール選手権大会Cブロックで、3戦全勝の1位となり、全日本インカレに出場した。

全日本インカレ初戦では北海道代表の札幌大学に1点差で勝利し、2回戦で関東代表の国士舘大学に敗れ、ベスト16位という結果になった。

今大会において本学男子ハンドボール部は初戦突破を目標としており、今回初戦突破したことは1979年以来40年ぶりの快挙となる。

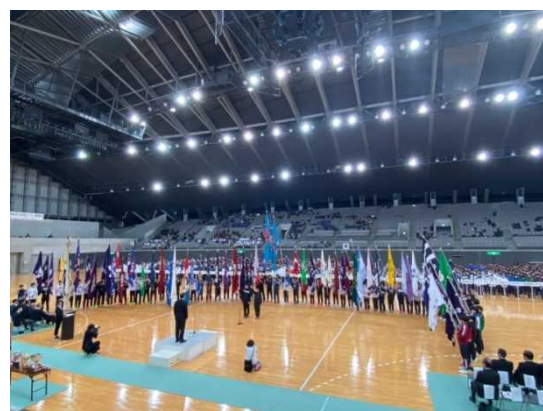
11月15日（金）には、今回の結果について、森脇学長へ報告した。

森脇学長は、「個人での活躍はこれまでもありましたが、男子ハンドボール部が全国大会の初戦を突破し、強豪校を相手に臆することなく戦い切ったことを聞き、たいへん嬉しく思います。また、来年も期待しています。選手の皆さん、本当にご苦労様でした。」と称えた。

男子ハンドボール部ではこの貴重な経験を後輩に伝え、来年以降に今大会以上の結果を残すことを目標に頑張る。



集合写真



全日本インカレ開会式の様子

「ISO14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を実施

11月13日（水）「ISO14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式を、森脇学長、大藤総務・財務担当理事、統括環境管理責任者の櫻田教授（工学部）、副統括環境管理責任者の村瀬教授（応用生物科学部）列席のもと、学長室にて実施した。

本学では、附属病院を除く全学で ISO14001 を認証取得しており、毎年職員と有志の学生による内部環境監査を行っている。

内部環境監査とは、本学の環境マネジメントシステムが ISO14001 の規格に沿って運用されているかを学内の監査員が確認するものである。

参加学生は ISO14001 の規格の概要や、内部環境監査の手法について教職員と一緒に外部機関の講師による研修を受けたうえで、実際に内部環境監査に監査員として参加し、学生からの目線で監査を行った。

授与式では、学長から本研修を修了した学生一人ひとりに修了証書が授与された。その後の意見交換で、学生は「大学の環境活動について詳しく知ることができ、大変勉強になった」「内部環境監査に参加して、環境への興味が深まったので引き続き監査員として活動していきたい」と参加した感想を述べ、「本学が取り組んでいる環境活動について、学内での認知度を高めていきたい」と意気込みを語った。

学生たちが、今後この研修を活かし環境配慮活動に貢献していくことを期待している。



意見交換の様子



集合写真

海外留学フェア 2019 秋を開催

令和元年 11 月 13 日（水）、グローバル推進機構主催『海外留学フェア 2019 秋～広げよう留学の輪～』を開催した。本フェアは、昨年まで留学経験者による発表を中心とした留学報告会として行っていたが、今年度は留学プログラム毎に留学経験者が中心となりブースを運営し、訪問した学生と直接交流できるように刷新した。

本フェアは、グローバル推進機構留学推進部門長 嶋睦宏教授の司会のもと、グローバル推進機構長 鈴木文昭 理事（国際・広報担当）・副学長の挨拶から始まった。

第 1 部では、グローバル推進機構留学支援室留学支援係から機構主催の留学プログラムや奨学金制度に関する説明があり、続いて、グローバル推進機構 松井真弓特任助教からスプリングプログラム（インド工科大学グワハティ校短期留学プログラム）に関する説明及び各留学プログラムの代表者によるブースの紹介があった。

第 2 部はブースに別れ、ブース毎に留学プログラム説明や体験談報告があった。参加者は留学経験者の話に熱心に耳を傾け質問をする等、留学に高い関心がある様子であった。

参加者からは、留学経験者と直接交流ができて良かった、との声があった。留学経験者からは、直接交流できるスタイルで参加者に留学経験を伝えられることに楽しさを感じたとの声もあった。

本フェアでの留学プログラム説明や学生間交流で築いたネットワークを通じて、今後さらに留学プログラムへの関心が高まり留学が促進されることを期待する。

当日の様子



Public Lecture 2019 in Universitas Muhammadiyah Yogyakarta が開催

岐阜大学大学院連合農学研究科（UGSAS）の千家正照研究科長、中野浩平教授、平松研教授は、令和元年11月19日（火）、ムハマディア大学（インドネシア）にて、アグリビジネススタディプログラムの学生に向けて公開講座を行った。

アグリビジネスとは農業に関連する幅広い経済活動を総称する用語であり、本プログラムでは、農業資材の供給から生産・流通・加工といった食料生産システム、さらにはそれらを取り巻く環境について広く学ぶ。

この公開講座は、ムハマディア大学のアグリビジネススタディプログラムの事務局長である、Zuhud Rozaki 氏が、本研究科の修了生（千家研究室）であったことが機会となり、今回、教授3名が招待され、特別講義が行われた。

千家研究科長より「Climate Change Impact on Irrigation」、平松教授より「Aquatic Ecosystems in rural areas」、中野教授より「Freshness Assessment and Prediction Technology for Fruit and Vegetable to Establish Smart Food Chain System」と題し、農学分野の環境変化、社会変革に対応する技術について、各50分間にわたる熱のこもった講義が行われた。



参加学生と記念撮影



農学部オフィスにて

総勢140名の学生が熱心に耳を傾け、講義内容について質疑応答が行われ、意義のある時間となった。

また、本講座の様子はムハマディア大学の公式ホームページに掲載された。

岐阜大学が「eco 検定アワード 2019」エコユニット部門「優秀賞」を受賞

11 月 22 日（金）、東京商工会議所で「eco 検定アワード 2019」の表彰式が行われ、岐阜大学は「eco 検定アワード 2019」エコユニット部門で優秀賞を受賞した。

eco 検定（環境社会検定試験）とは東京商工会議所が主催している環境に関する検定試験であり、複雑・多様化していく環境問題の知識を、幅広く体系的に身に付けることができる「環境教育の入門編」として活用できる。ビジネスシーンにおけるキャリアアップはもちろん、生活者として健康で安全な暮らしを送るために、eco 検定は社会の様々な場面で役立つ検定試験である。

「eco 検定アワード」は、環境活動を実践しているエコピープル（eco 検定合格者）及びエコユニットの活動を顕彰することで、環境への取り組みを広げることを目的としている。本学が行っている環境活動 ①持続可能な教育・研究の場「グリーンキャンパス構想」 ②内部環境監査員の養成と学生の参画 ③環境講義・環境集中講義の開講 などについて評価され受賞となった。

本学は今後も環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に取り組んでいく。



eco 検定アワード 2019 表彰式

第18回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会を開催

11月23日（土・祝）、みんなの森 ぎふメディアコスモス（岐阜市司町40番地5）で、岐阜大学が事務局を務める「岐阜地域留学生交流推進協議会」が「第18回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会」を開催した。

本大会は、平成13年度から外国人留学生の日本語学習意欲の喚起及び日本語の表現能力の向上を目的として行っており、今年度は87名の参加があり、本学からは留学生のペンイウイさん（工学部3年）、ゴブンリョウさん（地域科学研究科2年）、フレイハイさん（日本語・日本文化教育センター 日本語・日本文化研修留学生）の3名が出場した。

当日は、岐阜地域留学生交流推進協議会長の本学森脇久隆学長による開会挨拶の後、岐阜県内の大学、短期大学等の5機関から集まった13名（6ヶ国）の出場者が約7分間の日本語のスピーチを行い、日頃の努力の成果を存分に発揮した。審査の結果、本学出場者からは、「東京オリンピック精神と私」をテーマに発表したフレイハイさんが優秀賞を受賞した。入賞者は、会長から賞状と副賞が授与された。

観覧した国際交流に関心のある一般市民の方からは、留学生の日本語能力の高さ、スピーチのレベルの高さに感心する声も多く、今後も大会の継続を希望する意見が多く寄せられた。

発表した留学生だけでなく観覧した留学生への日本語学習への更なる意欲の喚起、日本語の表現能力の向上及び日本文化の認識につながる大変有意義な大会となった。

【第18回大会入賞者】

最優秀賞： WANG CHUNCHENG（オウ シュンセイ）岐阜協立大学
「かけがえのない存在」

優秀賞： ESTRADA MARIE KRISSEL GONZALES（エストラダ マリー クリセル ゴンザレス）中日本自動車短期大学
「愛＝幸福？」

//： SHARMA PRITIMAN（シャルマ プリティマン）中日本自動車短期大学
「ホームレスを通じて学んだこと」

//： FU LIBEI（フ レイハイ）岐阜大学
「東京オリンピック精神と私」



発表者及び審査員による記念撮影

コンポジットハイウェイコンベンション 2019 を開催

11月25日（月）、じゅうろくプラザにおいて岐阜大学を幹事校としたコンポジットハイウェイコンソーシアムはコンポジットハイウェイコンベンション 2019 を開催した。

コンポジットハイウェイコンソーシアムとは名古屋大学、金沢工業大学、岐阜大学の各複合材料センターが核となり、8つの公設試験研究機関と企業からなるコンソーシアムで、CFRP（炭素繊維複合材料等）に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界に冠たる一大拠点・産業集積の形成を目指している。今回のコンベンションは、コンソーシアム参加機関が一同に会し、活動状況や研究・製品開発の成果を発信することを目的に開催され、企業の研究者や教員、学生など207名の参加があった。

主催者から開会挨拶の後、帝人カーボン・ヨーロッパのウィリム テア スティーング開発統括部長から炭素繊維強化熱可塑性プラスチック開発の最先端についての基調講演があった。

また、コンポジットハイウェイの活動報告の他、今年度初の試みとして、優れた技術・製品を表彰する「コンポジットハイウェイアワード」の公開2次審査が行われた。1次審査を通過した4社によるプレゼンが行われ、審査の結果、2社が最優秀賞を受賞した。

コンベンション参加者からは、「講演者をはじめ、国際色豊かなコンベンションで大変参考になった」などの意見が寄せられ、大変有意義なイベントとなった。

岐阜大学は今後もコンソーシアムを推進していくとともに炭素繊維複合材料の研究を進める。



基調講演の様子



コンポジットハイウェイアワード授賞式の様子

ベトナム フェ省・フェ大学の観光学校長らが森脇学長を表敬訪問

11月25日(月)、ベトナム フェ省・フェ大学の観光学校長らが森脇学長を表敬訪問しました。本学は昨年11月にフェ大学と大学間学術交流協定を締結している。

今回の訪問では、フェ大学観光学校のチャン・フュー・トゥアン学校長をはじめ、フェ省観光局グエン・ブアン・フック副局長、フェ遺跡保存センター グエン・フオック・ハイ・チュン副センター長、フェ省外務局トン・ヌー・ゴック・イー・ニー氏、フェ市人民委員会グエン・ブアン・ホアン氏の5名が森脇学長を訪問した。

表敬訪問の間ではフェ大学観光学校、人材育成での協力、奨学金制度やインターンシッププログラム等について活発に意見交換がされた。森脇学長は「ベトナムからの学生・研究者は特に農学・工学部で多く学んでおり、この分野での交流の促進が期待できる。」と述べ、更なる交流の推進を確認した。



学長表敬



(左から：森脇学長、チャン・フュー・トゥアン学校長、グエン・ブアン・フック副局長、グエン・フオック・ハイ・チュン副センター長、トン・ヌー・ゴック・イー・ニー氏、グエン・ブアン・ホアン氏)



集合写真

「地元企業との交流会」を開催

岐阜大学グローバル推進機構は、11月27日（水）に留学生就職促進プログラムの一環として、「地元企業との交流会」を岐阜信用金庫、朝日大学と共同開催した。本交流会は、日本での就職を希望している外国人留学生を対象に岐阜県内の企業を広く知ってもらうことを目的に、平成24年度から毎年度1回実施しており、今回で8回目の開催となる。生協第2食堂を会場とし、自動車部品、食品製造などグローバル展開をする地元企業12社とテストマーケティング（試食会）に参加した菓子メーカー3社がブースを出展し、60名の外国人留学生が参加した。今年度の新たな試みとして、本交流会で構築した外国人留学生と企業の繋がりを進展させるために外国人留学生及び企業向けインターンシップ相談窓口を設置した。

参加した外国人留学生からは、「大変良い経験となったので今後もこのような交流会に参加したい。」「就職活動にとっても役立つイベントだと思った。」などの感想があった。

外国人留学生、企業ともに次の展開への期待が高まる交流会となった。



地元企業から事業説明を聞く外国人留学生



テストマーケティングの様子

岐阜大学生チームが、2019 郡上素材！新商品開発コンペで入賞

岐阜大学全学共通教育科目の「イノベーション型インターンシップ」の学生チームが、岐阜県郡上市産業支援センター主催の「2019 郡上素材！新商品開発コンペ」で入賞した。

今回のコンペでは、水・鮎・大根・味噌・ハム等の地域独自の食品素材を活かした郡上の代名詞となるような新しいみやげものを提案することが課題テーマで、愛知・三重・岐阜の専門学校・短大・大学の学生 46 チームで競った。

11 月 30 日（土）に開催された「2019 郡上素材！新商品開発コンペ」最終審査では、一次審査通過の 14 チームの学生によるプレゼンテーションが行われ、審査の結果、斬新さや今までの郡上にないもの、組み合わせのバランスといった点が評価され、岐阜大学生チーム「チーム尾藤」の提案が選ばれた。

入賞した岐阜大学生チームは、郡上特産の味噌と生チョコレートを組み合わせた商品「積翠の雪ー郡上みちよー」を提案した。

学生たちは、「他には見られない郡上らしさと話題性」「上品な見た目で SNS 映え」「海外の観光客にも親しみやすく海外へも郡上をアピール」をコンセプトとして新商品開発に取り組んだ。また、企画することと実現させることには大きな隔たりがあることも学んだ。



「チーム尾藤」 左から田崎渚さん（応用生物科学科 2 年）、尾藤克哉さん（地域科学部 3 年）、下牧忠正さん（工学部 4 年）

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
博士(医学)	甲第1112号	吉田 健作	令和元年11月20日	Efficacy of contrast-enhanced EUS for lymphadenopathy: a prospective multicenter pilot study (with videos) (リンパ節腫大に対する造影EUSの有用性に関する多施設共同前向き研究)
博士(医学)	甲第1113号	阪田 耕治	令和元年11月20日	Propofol But Not Desflurane Maintains Rat Cerebral Arteriolar Responses to Acetylcholine During Acute Hyperglycemia (ラットの脳血管において急性高血糖時におけるアセチルコリンに対する反応をプロポフォールは維持するがデスフルランは維持しなかった)

令和元年秋の生存者叙勲 ―本学関係者 1 名が受章―

令和元年秋の生存者叙勲が 11 月 3 日に発表され、本学関係者では次の方が受章された。

保健衛生功労

瑞宝双光章 岡田 仁志（元医学部附属病院放射線部診療放射線技師長）

表彰受賞者

公益社団法人化学工学会 熱工学部会賞 受賞

受賞者：板谷 義紀 工学部教授

業績名：公益社団法人化学工学会 熱工学部会賞 受賞

受賞日：令和元年11月1日

公益社団法人化学工学会 熱工学部会賞 受賞

受賞者：小林 信介 工学部准教授

業績名：公益社団法人化学工学会 熱工学部会賞 受賞

受賞日：令和元年11月1日

公益社団法人化学工学会 熱工学部会賞 受賞

受賞者：須網 暁 工学部助教

業績名：公益社団法人化学工学会 熱工学部会賞 受賞

受賞日：令和元年11月1日

一般社団法人日本燃焼学会第57回燃焼シンポジウム ベストプレゼンテーション賞 受賞

受賞者：小林 芳成 工学部助教

業績名：一般社団法人日本燃焼学会第57回燃焼シンポジウム ベストプレゼンテーション賞 受賞

受賞日：令和元年11月21日

「野生生物と社会」学会 若手奨励賞 受賞

受賞者：池田 敬 応用生物科学部特任助教

業績名：「野生生物と社会」学会 若手奨励賞 受賞

受賞日：令和元年11月23日

第29回日本MR S年次大会奨励賞 受賞

受賞者：小野 頌太 工学部助教

業績名：第29回日本MR S年次大会奨励賞 受賞

受賞日：令和元年11月29日

産官学連携の実施状況

○共同研究

(令和元年 1 1 月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
研究推進・社会連携機構	吉田 佳典	日本製鉄(株)
流域圏科学研究センター	久世 益充	八千代エンジニアリング (株)・岐阜市
工学部	吉田 佳典	島根大学・日立金属(株)・(株)守屋刃物研究所・(株)キグチテクニクス
研究推進・社会連携機構	加藤 邦人	イビデン(株)
工学部	隈部 和弘	(株)本田技術研究所
工学部	八嶋 厚	(株)高速道路総合技術研究所
工学部	久武 信太郎	(株)S O K E N
流域圏科学研究センター	久世 益充	(株)葵エンジニアリング

○受託研究

(令和元年 1 1 月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	國枝 稔	(株)大林組
大学院医学系研究科	矢部 大介	学校法人藤田学園藤田医科大学
工学部	高羽 浩	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台

メディア掲載一覧

○新聞

(令和元年11月分)

掲載日	新聞名	内容
11月1日	中部経済	十六銀の遺言代用信託で岐阜大に遺贈寄付可能に 教育機関向けは全国初
11月2日	岐阜	◎サタデーコラム:「自分らしい健康」楽しむ ～医学系研究科 大森正英 講師～
11月3日	岐阜	瑞宝双光章 <保健衛生功労> 元岐阜大医学部附属病院診療放射線技師長 岡田仁志さん
11月3日	岐阜	飛騨発、四年制大学構想 高山市 地域担う人材育成
11月6日	岐阜	◎つたえたい ～工学部機械工学科4年 津田裕貴さん～
11月6日	岐阜	寺の本堂 屋根崩落 大垣の真照寺 江戸末期創建で老朽化 ～工学部(維持管理工学) 木下幸治 准教授～
11月6日	岐阜	卵黄コレステロールは大切 「まるごとわかる タマゴ読本」出版 ～渡邊乾二 名誉教授～
11月8日	朝日	食べる順番指導 減量に効果 「栄養バランス」より守るのが容易 ～医学系研究科 矢部大介 教授～
11月8日	中日	学生が考える県の課題
11月8日	岐阜	人材育成に伝統産業合宿を 創生研鑽会、県に政策提言
11月8日	朝日	中堅社員と岐大生 県に施策提言 若者の人材確保・観光振興などテーマ
11月8日	中日	ワサビの起源 大陸由来 岐阜大院・羽賀さんら論文に 英国の国際科学誌に掲載 ～応用生物科学部 山根京子 准教授, 自然科学技術研究科 羽賀夏子さん～
11月8日	朝日	「地産地消エネ」構築へ試験設備 岐大内 自立の理想型を追求 ～地方創生エネルギーシステム研究センター 板谷義紀 センター長 ～
11月9日	中日	糖尿病特集 11月14日は世界糖尿病デー 正しい知識で前向きに治療を ～医学系研究科内分泌代謝病態学 矢部大介 教授～
11月9日	岐阜	◎つたえたい ～工学部機械工学科4年 前野大輝さん～
11月9日	読売	食べる順番 食欲抑制 岐阜大など研究発表 ～医学系研究科 矢部大介 教授～
11月9日	岐阜	令和元年度医学教育等関係業務功労者文部科学大臣表彰 ～医学部附属病院 山下吉広さん～
11月9日	岐阜	前期試験2月25, 26日 岐阜大, 来年度の入試要項

11月9日	岐阜	12件の研究に計240万円助成 斉藤斉治朗記念財団 ～工学部機械工学科, 化学・生命工学科～
11月9日	中日	来春募集要項 岐阜大が公表 5学部1240人
11月10日	岐阜	全国糖尿病週間あすから17日まで 人生100年 筋量増やして健康寿命 14日世界糖尿病デー ～医学系研究科～
11月10日	中日	前向きな学び方 長良高生に訴え 岐阜大教授が講演 ～教育学部 加藤直樹 教授～
11月12日	中日	インド商工会幹部 織物関係者と懇談 羽島の布生地資料館
11月13日	中部経済	◎中経論壇:高等教育の無償化 財源は税金, 自覚持って勉学を ～教育学部 大藪千穂 教授～
11月13日	岐阜	◎おんぱく写真部 宝物発見リポート:閉ざされた水路「暗渠」をたどる ～富樫幸一 地域科学部長～
11月13日	岐阜	第137回哲学カフェ de ぎふ ～元岐阜大学教授 吉田千秋さん～
11月13日	岐阜	◎つたえたい ～平野敦子さん～
11月14日	岐阜	防災活動大賞 県内から募る 清流の国センター 来月21日に選考会 ～清流の国ぎふ防災・減災センター～
11月15日	岐阜	大学医学部の総定員90人減 20年度, 地域枠見直し
11月19日	岐阜	専門高の学習に関心 うどん開発, 韓国交流, CG... 岐阜大付属中でイベント ～教育学部附属中学校～
11月21日	岐阜	特ダネは足で稼ぐんだ! 岐阜大生が商店街取材 ～教育推進・学生支援機構 授業「キャリア形成論」, 白村直也 特任助教～
11月21日	岐阜	あす揖斐川町で「不登校」シンポ 西濃学園 ～日本学校教育相談学会岐阜支部理事長 古田信宏 特任教授～
11月21日	中日	開放特許もっと使って 中小企業の商品開発支援 CBC が仲介サイト
11月22日	毎日	女性が主役「濃姫まつり」 大学生ら企画 岐阜であす初開催 ～「濃姫まつり」実行委員長・初代濃姫役 医学部5年 山口莉穂さん～
11月22日	岐阜	岐阜市, 大学, 企業がコンソーシアム設立 スマートシティ推進へ官民連携 自動運転, 健康増進が軸
11月23日	岐阜	「命を守る行動」に若者の目線 大垣でシンポ, 災害への備え考える ～清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 センター長～
11月23日	岐阜	関市と大学生ら豪雨被災地の1年追跡 健康被害, 官学連携で調査
11月23日	岐阜	第70回岐阜新聞大賞の選考委 各部門候補者の功績審議

11月24日	中日	日本語弁論大会で王さんに最優秀賞 県内留学生 13 人参加
11月25日	中日	◎美濃飛騨スペシャル：県食品化学研が「G2酵母」 香り高く地酒個性醸せ
11月26日	日本経済	北大学長不在 強い懸念 文科省 18 年度の国立大評価
11月26日	中部経済	◎研究現場発：パソコンの中での化学実験 新しい量子化学計算プログラムの開発も ～工学部化学・生命工学科 宇田川太郎 助教～
11月26日	岐阜	若手教員の割合 岐阜大「未達成」 国立大中期計画評価
11月26日	中日	古墳寒冷期 焼き畑復活 大垣・荒尾南遺跡の泥から炭 ～教育学部 勝田長貴 准教授～
11月26日	読売	北大の運営「強い懸念」 学長不在で文科省評価委
11月27日	読売	病院の経営再建 指南本 付属病院長の経験 1 冊に ～元医学部附属病院長 医学系研究科 小倉真治 教授～
11月27日	中日	遺言代用信託の寄付先に岐阜大 十六銀商品に追加
11月28日	中部経済	留学生との交流会で地元企業が事業説明 岐阜信金が開催
11月28日	岐阜	外国人材マッチング 岐阜大など企業交流会 留学生 60 人参加
11月29日	岐阜	安心できる社保制度を 県退職公務員連が決議 ～県金融広報アドバイザー・教育学部 大藪千穂 教授～
11月29日	岐阜	岐阜大吹奏楽団が八百津で 1 日公演 ～岐阜大吹奏楽団～
11月29日	岐阜	岐阜大の収蔵庫 参加者興味津々 くるるセミナー ～地域科学部 富樫幸一 教授～
11月29日	朝日	金属加工 工具圧力 10 分の 1 に 精密鍛造に「第三の基本工法」 岐大・王副学長が開発 ～王志剛 副学長～
11月29日	岐阜	プログラミング、楽しんで学ぼう 来年 1, 2 月に小中学生体験
11月30日	中日	「地産地消」エネルギーシステム 岐阜大に新試験設備 水素生成などのデータ解析 ～地方創生エネルギーシステム研究センター 中川二彦 教授～
11月30日	岐阜	科学技術研究に助成 小川財団, 22 件に計 1305 万円

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(令和元年 11 月分)

放送日	番組名	内容
11月23日	CBC テレビ 13:00～ 13:54 「ゴゴスマッチング TV」	研究成果である、県内の特産品として有名な「富有柿」の鮮度保持技術を紹介 連合農学研究科 中野浩平 教授

◇第683回 役員会

11月14日（木）

（議事）

1. 共同研究講座の設置について

◇第7回 部局長・部長会

11月14日（木）

（協議事項）

なし

◇第8回 教学委員会

11月19日（火）

（審議事項）

1. 学生の表彰について
2. 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について
3. 協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定について
4. シラバス様式の改定について

◇第684回 役員会

11月21日（木）

（議事）

1. 教育職員雇用申請について
2. 令和2年度分教員人事について

◇第188回 教育研究評議会

11月21日（木）

（審議事項）

1. 全学共通教育科目に係る非常勤講師経費の負担に関する申合せ（案）について
2. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇第685回 役員会

11月21日（木）

（議事）

1. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇第7回 入学試験専門委員会

11月27日（水）

（審議事項）

1. 岐阜大学オープンキャンパス2020の日程（案）について
2. 【継続審議】令和3年度（2021年度）大学入学者選抜（案）について
3. 【継続審議】入試変更に伴う入試情報システム改修費負担（案）について

主要日誌

月 日	行 事 名
11/ 2	岐阜大学フェア2019
6	環境ユニバーシティフォーラム
12	再生可能エネルギーマネジメントシステムオープン式典
20	クリーンキャンパス